

中央会 おかやま

組合活性化情報

岡山県中央会 web site <http://www.okachu.or.jp>

E-mail chuokai@okachu.or.jp

2017

November | Vol.673

今月のFOCUS

第69回中小企業団体全国大会が開催され、
国などへの要望が決議されました ④

人々の目を引く面白い情報発信を通じて、
地域の活性化を目指す



代表取締役社長
吉田 大助 氏

リーダーズ「アイ」

代表取締役社長

吉田 大助氏

株式会社「イゼビ」

人々の目を引く面白い情報発信を通じて、地域の活性化を目指す

経営理念や、常に心掛けていることについて教えてください

「情報文化の創造を通じて、社会を豊かに楽しくする」を経営理念とし、日々人々の目を引く、面白いものをつくるナンバーワン企業を目指しています。昭和9年の創業時は毎日新聞の地方版広告業から始まった弊社ですが、現在は事業の幅を広げ、テレビ・新聞・雑誌・WEB...など様々なメディアを通じて情報発信が事業の中心です。その一つが「月刊タウン情報おかやま」や「オセロ」といった情報誌です。インターネットの普及により紙媒体の広告物は減少していると思いますが、ふと手に取ったときに偶然面白いものに触れやすいのが紙媒体の良さであると思っています。こういった媒体に触れることで、自分で主体的にキーワードを入力して情報を得るインターネットとはまた違った楽しさを感じて頂きたいと思っています。

前社長（現会長）は非常にカリスマ的な存在で、弊社のことを一番理解している人間です。しかし私は転職で入ってきたということもあり、まだ知らないことが多くあります。ですので、その「知らない」ということを武器にして、過去行っていたようなことを実現することが私のなすべきことと考えています。また、弊社のここまでの発展は、従業員全員で作上げた経営理念を遵守した結果だと思っています。今後、事業の中で迷う瞬間はあると思いますが、会社の憲法である理念に立ち返り、自信をもって行動したいと思っています。

現在力を入れている取り組みについて教えてください
弊社の主たる事業は創業時と変わらず広告宣伝業ですが、

近年非常に需要が高まっているのが人材活用事業です。取り組みの一つとして、地域就職応援サイトである「就ナビ」の運営を行っています。地元である岡山に帰ってきたいと思っている学生や、転職者に地元企業を知ってもらうことを狙いとしています。多くの学生が仕事を求めて大都市圏に出ていく昨今、如何にして岡山にいたいと思わせるか、今後も対策が欠かせません。

また、関連組織である協同組合岡山情報文化研究所の取り組みの一つとして、「Vinsight」という調査対象を岡山に絞ったアンケートサイトを運営しています。学生など特定の集団に限らない一般の人からの情報を活用できるところが強みで、イベントの企画や分析など、弊社の多くの事業の中で役立っています。

また、岡山を元気にするイベントなどにも、多数携わらせていただいています。社員の地元愛が強すぎるあまり、採算の面で厳しくなる時もありますが、地域社会を豊かに楽しくすることを第一に心がけ、経験を社員の成長・企業の発展につなげていきたいと考えています。

今後の展望や目標について教えてください

面白い情報の発信を行うことによって岡山を活性化させることはもちろんですが、これまで培ってきたノウハウを活かして、岡山以外の地域の手助けをしていきたいと思っています。私共の仕事は新しいアイデアの創出が常に欠かせません。また、今の時代に対応したアイデアは若い社員から生まれることが多いです。そのため、常にボトムアップで多くの社員の考えを尊重したいと思っています。また、会社はあくまで



地域密着型の情報誌

自分の人生を幸せにする、自己実現の手段であるべきです。若い社員にはどんどん自分のやってみたいことに挑戦して欲しいと思いますし、それを常に実現できる会社でありたいと思います。



次代を担う若手社員

ヒューマンリソース局 採用サポートチーム 三宅 風太氏

人材活用を通じて多くの企業様のネットワークを解決する

現在取り組んでいる業務や、
心がけていることについて教えてください

入社時からヒューマンリソース局採用サポートチームで人材活用についてのトータル提案の営業をしていて、今年で3年目になります。人材活用事業については、新卒採用事業、中途採用事業、教育研修事業の3つの柱があり、それぞれに違った難しさや面白さを感じています。

仕事に取り組む中で驚いたのが、これまで多くの企業様の人に関わる諸問題に直面してきましたが、似ている問題は多くあっても、一つとして同じ問題をかかえている企業様はなかったということです。そのため、企業様ごとの特徴に合った、細かな対応が欠かせないということを非常に強く感じています。中でも、企業様の中での点がネックになっているのかを事前に洗い出し明確にすること、企業の方と同じ目線に立って考えること、解決策を複数用意することを常に心がけて、日々仕事に取り組んでいます。

仕事の中でのやりがいを教えてください

お客様に今年は良い採用ができそうだな、とおっしゃって頂いたときや、計画通りにことが進んでいったときに非常に喜びを感じますが、最もやりがいを感ずるのは提案の結果が出て、成果に繋がった瞬間です。

また、弊社は地元である岡山の活性化を事業の根幹としていますので、常に地元に着目した取り組みが出来るという喜びもあります。その中でも、人材に関する事業は私の最も強く志望していたところなので、難しい仕事ではありませんが、やりがいは常に感じています。



就活イベントの風景



新入社員研修事業の様子

今後の目標や、目指す姿について教えてください

仕事の中ではもちろん自分の思うベストなプランを提案していますが、企業様によってはあまり効果的ではないこともあります。そのため、状況に応じた柔軟な提案をできるようになることが私の今後の課題だと思っています。また、お客様の信頼を得るような仕事を重ね、まずは私に相談しよう、と思ってもらえるような社員になりたいと思います。

長期的な目標としては、別の部署で経験を積むことによりますます幅のある対応ができるようになりたいです。多くの分野で着手できる弊社ならではの強みを活かして、今後ますます多くの企業様の問題解決が出来るよう、日々邁進して参ります。

企業プロフィール



企業名：株式会社ビザビ
住 所：〒700-0824
岡山市北区内山下 1-3-1
T E L：086-224-7171
F A X：086-224-1584
H P：https://www.vis-a-vis.co.jp/
所属組合：協同組合岡山情報文化研究所



運営している地域就職応援サイト「就ナビ2019」



第69回中小企業団体全国大会が開催され、国などへの要望が決議されました

全国大会に先立ち、10月10日(火)に東京にて全国大会特別委員会が開催され、岡山県中央会書田会長は、総合専門委員長として委員会報告を行い、大会決議の最終案がまとめられました。

中小企業団体全国大会は、中小企業者で組織する全国約2万7千組合等の意見を総意としてとりまとめ、内外に広く表明するとともに、国等に対して中小企業振興施策の強化を訴えるため、毎年開

催されています。大会には武藤経済産業副大臣他多数の来賓が出席、岡山県からは書田会長ほか19名が参加しました。

大会では、決議の他、優良組合、組合功労者等の表彰が行われました。岡山県内の受賞者は次のとおりとなります。

- 〔組合功労者〕(順不同)
- 大塚 泰文氏(岡山県印刷工業組合 理事長)
- 柳田 修平氏(協同組合中四給食会 理事長)
- 〔中央会優秀専従者〕
- 太田 滋久

大会の最後に来年の開催地である京都府中央会の挨拶や大会宣言の採択があり、盛会のうちに大会は終了しました。

(組織支援二課 北山)



10月26日(木)に長野県松本で開催された中小企業団体全国大会では次のような決議がされ、現在、全国中央会が国の関係省庁などに要望を行っています。

第69回中小企業団体全国大会決議文

我が国経済は、緩やかな景気回復にあるといわれているものの、多くの中小企業・小規模事業者はその実感を得られないまま、人手不足の深刻化、経営者の高齢化、地域の疲弊、頻発する自然災害への対応など多くの課題を抱え、その対応に苦慮している。

このような状況の中で、地域の経済・雇用を支える中小企業・小規模事業者は、経営基盤を強化し持続的な成長に向けて、さらなる生産性の向上が求められているが、そのためには個々の努力に加えて、連携・組織化による一層の支援の充実が肝要である。

中小企業団体中央会は、組合等の連携組織が持っている企業同士の「つながる力」を大いに発揮して、IT利活用、人手不足と事業承継を見据えた人材育成などをはじめとする積極的かつ多面的な支援により、我が国経済及び中小企業・小規模事業者の持続的な成長に寄与すべく活動を展開していく。

国等は、そのための後押しとなるよう全国の会員組合等からの意見を踏まえた本決議事項の実現に取り組まれない。



食品バイヤーとの 相談・商談会を開催しました

去る10月26日、岡山県と岡山県中小企業団体中央会では、売れる食品の開発と販路開拓を支援するため、食品バイヤーとの相談・商談会を開催しました。今回の相談・商談会は単なる商談会ではなく、食品バイヤーの目線から行った商品評価を参加事業者にフィードバックし、より売れる商品へブラッシュアップすることを目的としています。

当日は29社の食品事業者の方にご参加いただき、食品バイヤーは、これまでお越しいただいたことがない首都圏の百貨店の方を中心にご参加いただきました。

相談・商談を終えた事業者の方からは、自社商品のPRポイントを改めて考えるきっかけとなった、「今後の商品展開がみえた」といったご意見をいただきました。食品バイヤーの方からも「岡山の魅力的な企業を知ることができた」、「こちらの要望も伝え新たな商品展開に繋がりを」といったご感想をいただくなど、事務局側としても嬉しい声が聞かれました。

今後この相談・商談会を機会として、より売れる商品の開発と新たな取引が開始されるよう、参加事業者のフォローアップも行って参ります。

(ものづくり・連携支援課 鈴木)



食品バイヤー 一覧

株式会社イーオー食品
有限会社石井商店
株式会社ごっつお便 (株式会社そごう西武ギフト事業会社)
株式会社五味商店
株式会社世界文化社
株式会社高島屋
株式会社東急百貨店
株式会社八木橋

課題解決で工賃アップをめざそう！ 福祉作業所支援事業

岡山県中央会は美作県民局と連携し、美作地域の福祉作業所(就労継続支援B型事業所)の販路開拓による工賃アップを支援する取り組みとして、「課題解決で工賃アップをめざそう！福祉作業所支援事業」を実施します。

当事業は、福祉作業所職員に対して、作業所が製造・販売する商品のテストマーケティングを通じて、一般商流の手法(対面販売ではなく、郵送納品による委託販売)を取得していただくことを目的として事業を企画しています。テストマーケティングは県南の大手量販店にて3週間程度のコーナー展開により実施。事前に開催するセミナーにて、FCPシート※の書き方、バイヤーとの商談準備のほか、納品方法から口座開設(収益の受け取り方)など、一連の商取引の手法を学んだ後にテストマーケティングを実施。セミナーと実地体験を通じてのスキルアップを目指していただきます。

また、売れる商品作りに関する相談や、取引手法の課題解決などについては、専属のコーディネーターの現地指導にて対応し、伴走型によるきめ細か



10月24日に開催した説明会の様子

い支援事業を展開いたします。

当会では、昨年度の事業にて「売れる商品作り」に関する助言指導を実施いたしました。今年度の事業は昨年度の事業成果を活かし、ブラッシュアップされた商品の販路を拡大させるステップアップ事業として企画しています。

今後は11月に2回のセミナーを実施、テストマーケティングは来年1月初旬から下旬を予定しています。

※商品の特徴やセールスポイントを記入し、バイヤーに効果的に情報を伝えるほぼ統一されたフォーマット。

(ものづくり・連携支援課 鈴木)

平成29年度第3回外国人技能実習制度適正化事業講習会開催

岡山県中央会では、去る10月24日(火)、岡山プラザホテルにおいて平成29年度第3回外国人技能実習制度適正化事業に係る講習会を開催し、岡山県下監理団体や介護事業者を中心として約100名が参加しました。



講習会では、全国中小企業団体中央会労働政策部審議役の西津康久氏より「外国人技能実習制度について」ご説明いただいた後、厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室室長補佐の熊野将一氏より「介護職種における技能実習の要件(介護固有要件)等について」と題してご講話頂きました。

先般、「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」が公布され、平成29年11月1日の施行にあわせて技能実習制度の対象職種に介護職種が追加されます。

これを受けて、去る9月29日に介護職種における技能実習の要件(介護固有要件)に関する告示が公示されたことから、この度、介護固有要件等に関して詳細にご説明頂きました。

今後、事業協同組合が監理団体として果たすべき役割についても改めてご説明頂き、当日の参加者は熱心に耳を傾けていました。

(組織支援一課 赤松)

『働き方改革シンポジウム2017 in OKAYAMA』を開催

岡山県中央会は、去る10月18日(水)、ホテルグランヴィア岡山において『働き方改革シンポジウム2017 in OKAYAMA』を開催しました。県全体の働き方改革推進の気運を高めるために実施したもので、企業経営者ら約120名が参加しました。

佐藤岡山県副知事、書田岡山県中央会会長の開会挨拶から始まり、第一部では少子化ジャーナリストで作家の白河桃子氏より「御社の働き方改革、間違っていないか?経営戦略としての働き方改革」と題してご講話をいただきました。続いて第二部のパネルディスカッションでは「イクボス、女性活躍、これからの岡山の働き方を考える」をテーマに、白河氏をはじめNPO法人ファザリング・ジャパン理事の徳倉氏、中国経済産業局産業界人材政策課長の阿比留氏、(株)フジワラテクノアート社長の藤原氏、(株)エーゼロの金城氏がパネリストとなり、それぞれの立場から働き方についての考えを、事例や実体験などを交えながら熱く語っていただきました。

中小企業にとって、人材確保、職場定着は大きな課題ですが、「働き方改革」は課題解決に向けての1つのヒントになるのではと考えています。

中央会では、働き方改革推進の一環として「働き方改革イクボス養成講座」を12月と1月に開催します。詳しくは企業人材支援課(TEL:086・224・2245)までお問い合わせください。

(企業人材支援課 市村)



従業員の離職防止・職場定着のための研修を開催します

岡山県中央会では、岡山県地方創生インターネット・就職等推進事業(岡山県委託事業)の一環として、「従業員の職場定着研修」を開催します。

卸・小売業界と従業員100人以下の小規模企業を対象に、業界の特質理解と人材流出の防止策、小規模企業の若者の定着・活躍のための採用・育成計画の立て方など、業界や企業規模にそれぞれ対応した研修内容となっております。

いずれも参加費無料。但し定数となり次第締め切らせていただきますので、参加ご希望の方は、企業人材支援課(TEL086・224・2245)まで早めにお問い合わせ下さい。

■従業員100人以下企業を対象とした職場定着研修

日時 平成29年12月5日(火) 13時~17時
場所 ピュアリティまきび

対象 従業員100人以下の企業経営者、人事・労務・教育担当者等(定員30名)
講師 (株)リクルートキャリア 松田和也氏

■卸・小売業界を対象とした職場定着研修

日時 平成29年12月6日(水) 9時30分~17時
場所 ピュアリティまきび

対象 卸・小売業界の企業経営者、人事・労務・教育担当者等(定員30名)
講師 (株)キャリアプランニング 秋山卓美氏

(岡山市北区下石井2・6・41)

青年経済人と県職員の見交換から 作られた提言書を岡山県に提出

去る10月20日、岡山県経済団体青年部連絡協議会の石井貴朗会長らが県庁を訪れ、「ちいさな企業おかやま未来サポート会議」での意見交換の結果を取りまとめた提言書を、岡山県産業労働部の横田有次部長に提出しました。

提言書は、「技術力を保有する企業の情報発信と、職人の育成」「観光やインバウンド対応」「人材確保と育成」「人口減少への対応」の四点が柱で、具体的には、技術力の高い企業を県が認定する制度の創設や、県北部の観光振興を目的とした官民合同によるサミットの定期的な開催等が盛り込まれました。

「ちいさな企業おかやま未来サポート会議」は、岡山県の中堅・若手職員と県内青年経済人が、中小企業・小規模事業者等が抱える経営課題や必要としている支援施策等について意見交換を行う会議であり、今年7月・8月に県内各地で全4回開催されました。

本年度は青年経済人からの率直な意見が出やすいよう、昨年までの県幹部との意見交換会の形式を変えて岡山県に届けるため、より良い形を模索しつつ実施していく予定です。

(組織支援一課 藤田)



※岡山県経済団体青年部連絡協議会
岡山県商工会議所青年部連合会
岡山県商工会青年部連合会、岡山県中小企業団体青年中央会にて構成、事務局を三団体が持ち回り、今年度は岡山県中小企業団体中央会が担当

動画活用セミナー開催

近年、YouTubeを中心とした動画サイトの利用者が伸びており、ビジネスシーンでも自社PR、商品やサービスの紹介等に動画を活用するケースが増えています。そこで去る10月3日に(株)ライドワン・コーポレーション代表取締役の上川敏寿氏を講師に迎え、動画活用のトレンド紹介や初心者にも簡単にできる動画作成の実演による、動画活用セミナーを開催しました。



セミナー前半ではYouTubeでPR、マーケティングを行う際に効果的な機能や、再生回数を上げるためのタイトル、説明文、タグの付け方の紹介に加え、自社ホームページ、ブログ等との連携について説明がありました。後半ではパソコン及びスマートフォンを利用した動画作成、またYouTubeへのアップロードの実演を行いました。

参加者からは「動画作成は難しいというイメージが一変した」、「撮影や編集のテクニックも学びたい」など、前向きに取り組みたいという声が多く、今後の事業活動での活用増加が期待されます。

(組織支援一課 林)

最新の研究成果と地域企業とをつなぐ

平成29年度 岡山大学 研究シーズ発信会 予告



日時：2017年12月15日(金) 10:20~16:30

場所：岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール **参加無料**

(岡山市北区駅元町14-1 JR岡山駅西口から徒歩3分)

対象：岡山大学の研究にご興味がある方ならどなたでも

本シーズ発信会は、岡山大学で生まれた研究成果の実用化を促進するため、教員自身が企業関係者を対象に、実用化を展望した技術説明を行い、広く実施企業・共同研究パートナーを募る目的で開催します。

発表分野：

計測/検査
バイオ
人工知能
機能材料/ナノ材料
医療/健康 他

お問合せ・お申込み先：

岡山大学 研究推進産学官連携機構 藤田

E-mail: r-kenkyu@cc.okayama-u.ac.jp

協同組合落合シヨッピングセンター 大災害支援活動写真展・ 防災展を開催

協同組合落合シヨッピングセンター(落合サンプ
ラザ)は、去る10月6日(金)～13日(金)の8日間、熊
本地震・東日本大震災等復興支援活動写真展・防災
展を開催しました。

写真展では、自衛隊、警察、在日米軍等の協力
のもと、被災時の救助・捜索活動、がれき撤去作業な
どを写した写真約450点が展示され、期間中多数
の方が見入っていました。

開催初日には、サンプラザ3階文化ホールにて
「開会式・講演・復興コンサート」が開催され、黙禱
に続き伊藤理事長の挨拶、米国総領事館副領事や真
庭市長等来賓挨拶があり、真庭高校・落合中学校の
代表者による「防災の誓い」が発表されました。

「トモダチの絆」と題した記念講演では、在日米軍
「トモダチ作戦」の企画運営にあたった元米海兵隊太
平洋基地政務外交部次長であるロバートD・エルド
リッチ博士により、どんな試練にも耐えぬく日本人
だからこそ在日米軍の活
動が役に立った等の話が
ありました。

最後に、落合中学校吹
奏楽部の感動的な復興記
念コンサートで締めくく
られ、200人余りが参
加した開会式典は盛況裡
に終了しました。

(組織支援一課 金田)



商店街間及び共同店舗 連携共通販売促進事業旅行 ご招待イベントの案内



岡山県中央会では、岡山県下の商店街組合と共同
店舗組合が連携し、お客様を日帰り旅行にご招待す
る共通販売促進事業を実施します。このイベントは
各商店街・共同店舗のイベント期間中にお買い物を
して頂いたお客様にスクラッチカードを配布し、当
選が出ると無料日帰り旅行にご招待、優待が出るこ
とご優待価格にて旅行にご参加、ハズレ券を三枚集め
るとご優待券としてご利用頂けるという仕組みです。

この度は26組合が参加、平成30年1月13日(土)
から2月12日(月)までの期間に「いにしえの世界遺
産・奈良大和路八景と新春祝いひょうたん三重膳」
と題した日帰り旅行を企画しています。

(組織支援一課 長木)

岡山駅前商店街と ご当地アイドルの地域活性化 コラボ企画開催

岡山駅前商店街振興組合は、岡山を拠点に活動す
るアイドルグループである「Sha☆in」と連携
し、10月1日からの一か月間に渡ってコラボイベン
トを行いました。期間中は、商店街内に「Sha☆
in」の懸垂幕を掲揚する他、スタンプラリー参加
店と掲載されているお店でお買い物をして頂いたお
客様にスタンプを押し、一定の金額に達したお客さ
まは11月3日(金)から5日(日)の三日間に開催さ
れる、「備前岡山ええじゃないか2017」で抽選に
参加できるようになっています。

また、同期間中の10月28日、29日にはハロウィン
イベントを開催、多くのゲストを迎え、「Sha☆
in」もステージ出演し商店街を盛り上げていまし
た。参加者による仮装
コンテストや仮装パ
レード、仮装ガラポン
なども行われ、商店街
内は仮装をした人で溢
れました。多くの団体
と協力し、地域おこし
を図る当商店街の取り
組みが今後も期待され
ます。

(組織支援一課 長木)



がんばる企業Ⅱものづくり補助金活用事例紹介Ⅱ

P・O・Pカンパニー株式会社

異形状のぼり旗の量産加工を実施

平成15年設立のP・O・Pカンパニー株式会社は、小売業・飲食業の販促用品（のぼり旗・のれん等）の製造と資材（容器・箱・箸等）の企画販売を手がけており、「食」に関するのぼり旗の数は日本最多規模を誇るとともに、多種多様な自社企画の既製品を揃えています。

今回は、同社が新たに取り組みを始めた注力している「異形状のぼり旗」の製造について、取締役副社長の松澤元太氏にお話を伺いました。

新たな取り組みの背景

当社の主要な製品の1つであるのぼり旗は一般的に長方形のものがほとんどである中、当社では製品の付加価値をより高めるため、長方形以外のいわゆる「異形状のぼり旗」の取り扱いも行ってきました。しかしながら異形状のぼり旗の製造は従来手作業で行っていたため、製品は高コスト・長納期となってしまうことに加え、大量発注の依頼があった場合には対応できないという課題がありました。そこで、当社ではこのような課



導入したレーザーカット機



のぼり旗印刷の様子



異形状のぼり旗

題を解決するため、異形状のぼり旗の製造工程を機械化し低コスト・短納期を実現するとともに、他社に先駆けて多種・量産化に取り組むことで業界のリーディングカンパニーとして競争力の強化を目指しました。

実施内容とその成果

製造行程の機械化を実現するために、最新のインクジェットプリンタとレーザーカット機等の機器を導入しました。イラストレーターで作成したデータを転送し、最新のインクジェットプリンタで印刷を行います。同時に裁断パターンを

データ化したQRコードを印刷し、布を自動搬送した際にQRコードを読み取り、レーザーカット機で裁断します。レーザーカット機は元来布を裁断する機械では無いため、布が焦げないようにするための出力調整や、裁断誤差内に収まるように布の伸び縮みを検知できるようにするために時間を要しました。

平成29年3月から本格的に稼働を開始し、機械化により「異形状のぼり旗」の量産化及び小ロットの短納期生産が可能となりました。異形状の既製品見本をサイトやカタログに掲載し、受注に結び付けています。全体から見たシェアはまだ少

ないものの、ユーザーの感触は良く、徐々に受注も増えてきています。

今後の展望

異形状のぼり旗の製造において、印刷から搬送、裁断までの工程がほぼ自動化できました。手作業による加工よりも生産性が高く、量産化と短納期に対応できます。ユーザーからも高評価を得ているため、大手チェーン店等へのアプローチを通じて需要の拡大に繋がっていきたいと考えています。製造工程の完全自動化と生産性向上の実現が今後の目標です。もっと「異形状のぼり旗」のシェア拡大を進めていきたいと思っています。

（取材／ものづくり・連携支援課 黒田）

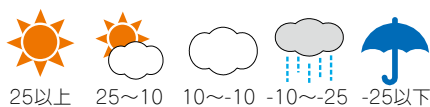
企業データ

P・O・Pカンパニー株式会社
 代表取締役 玄馬 宏昭
 所在地：岡山市南区浦安南町220-1
 業 種：繊維工業
 TEL：(086)261-2100
 FAX：(086)261-1110

情報連絡員レポート

9月分

岡山県業界天気図



	業界の景況	DI	売上高	DI	収益状況	DI
全体		-8.6		-1.7		-8.6
製造業		-10.3		-6.9		-17.2
非製造業		-6.9		3.4		0



増加・上昇・好転
 変らず
 減少・下落・悪化

(注)DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

製造業

前年同月比

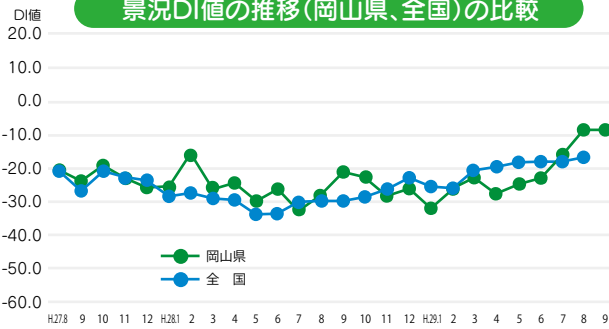
業種	前年同月比							
	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	
食料品	味噌							
	米菓							
	豆腐							
	醤油							
	酒造							
繊維工業	繊維業・井原							
	繊維業・県							
	アパレル・県							
	アパレル・津山							
木材・木製品	製材・県							
	合板							
印刷	出版・印刷							
	製本							
化学・ゴム	ゴム							
	プラスチック製品							
窯業・土石製品	生コンクリート							
	石灰							
	ブロック							
鉄鋼・金属	鋳物							
	鉄鋼							
一般機器	機械器具・東岡山							
	鉄工・津山							
	鉄工・岡山							
	工作機械・総社							
	工作機械・井笠							
	工作機械・英田							
輸送機器	造船関連							
	自動車							
その他	畳							

非製造業

前年同月比

業種	前年同月比							
	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	雇用人員	
卸売業	機械・工具							
	電設資材							
	青果							
	木材							
小売業	資材							
	石油							
	青果食品							
	中古自動車							
	自動二輪							
商店街	家具							
	商店街・岡山							
	商店街・津山							
	商店街・倉敷							
サービス業	自動車整備							
	建築設計							
	旅館・ホテル							
	電飾・看板業							
	IT産業							
建設業	リサイクル							
	住宅リフォーム							
	左官							
	土木工事							
運輸業	管工事							
	防水工事							
	バス							
	タクシー							
	トラック							
倉庫業								
その他	信用組合							

景況DI値の推移(岡山県、全国)の比較



- 全国の8月の景況は、前月対比+1.2ポイントDI値が改善し、-16.7ポイントとなった。全国指標は3月から半年間ほぼ上昇基調にある。内閣府発表の9月調査結果によると「着実に持ち直している。先行きについては、人手不足や海外情勢に対する懸念もある一方、引き続き受注、設備投資等への期待が見られる」と、前月より一歩踏み込んで景況は「着実に持ち直している」としている。
- 県内の景況DI値は、前月と変わりなく-8.6ポイントであった。DI値内訳は、販売価格(-1.7)の-3.4ポイントを除き次の7項目とも改善した。資金繰りが+13.8の-1.7、雇用人員が+8.6の1.7、売上高が+6.9の-1.7、収益状況が+5.2の-8.6、設備操業度が+3.5の13.8、在庫数が+2.4の0、取引条件が+1.7の-5.2ポイントとなった。業種別の景況DI値は、製造業が前月比+3.5ポイント改善し、非製造業は前月比-3.5ポイント下げた。県内景況は緩やかな回復を続けていると見られる。

製造業

食料品

- 遠方への集荷に対してのコスト増加が問題であり、出荷ロットの見直し、配送業者の使い分けを考えている。夏バテならぬ秋バテが商品の動きはあまり良くない。輸出は新規案件で少しだが出荷が始まる。平成30年から稲作に対する制度が変わるため、全国組織からの情報提供もあり、来年度の作付、価格などに注視が必要である。《米業》

繊維工業

- 昨年末からのデニム不振で、低調なまま推移している。また企業によって景況感に開きがある。自社で販売している企業は見込み生産もあり、在庫が増加している。《繊維業・井原》

木材・木製品

- 原木の出材期を迎えたこともあり、安定した出材が続いている。スギ、ヒノキとも一般材価格は横ばいであるが、原木は品薄傾向から堅調である。またヒノキ良材は高値を付けるものがある。曲がり材は合板用やラミナ用に引き合いがあり、小径木は引き続きバイオマス発電等の燃料用として安定的に引き合いがある。《製材・県》
- 木材加工製品(9月)は公共関連の受注は少ない状況が続いている。建具家具の受注でやや救われた感がある。木材製品売上前年対比100%。木材商品売上前年対比28%(公共がない)。原木仕入(9月)の原木市場への出材は減少傾向が続いている。特に県内・県外のバイオマス発電の需要増から小径木の出材が大きく減少、原木価格-柱口は横ばいである。末口16~18mm/3m、17,000~19,000円/m³、小径木-仕入れ価格末口10~14mm/3m、8,000~9,000円/m³ 《合板》

印刷

- 前年と比較して商況は低迷している。そのような状況下で価格競争が厳しい。また、印刷用紙の値上げが行われようとしている。《出版・印刷》

化学・ゴム

- 生産高増に伴う人員不足を補おうとするも、採用状況は厳しい。一層の省力化と効率化に向けての対応が必要である。《ゴム》

窯業・土石製品

- 対前年売上高は一部の業者に減少がみられるものの、業界全体ではあまり変化は感じられない。今後の業況もとくに変化なく推移するものと思われる。《ブロック》

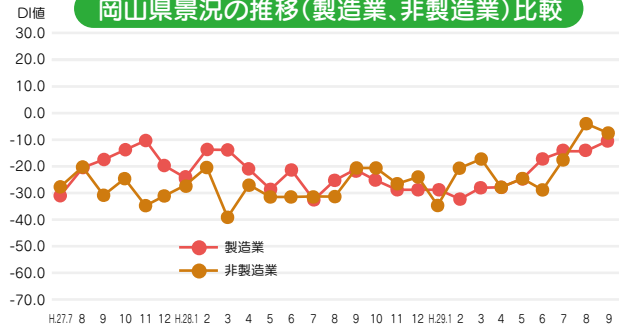
一般機器

- 企業間でばらつきはあるものの、特に大きな変化は見られない。《鉄工・岡山》
- 受注量が増加傾向であり、設備操業度は上昇している。雇用面において、今年も新卒の採用が苦戦中である。《工作機械・総社》
- 受注量は安定的に確保できており、売上高は増加傾向である。《工作機械・井笠》
- 人手不足であり、鋼材の高止まりにより収益圧迫の状況である。《工作機械・英田》

その他

- 例年同様である。《量》

岡山県景況の推移(製造業、非製造業)比較



- 製造業の景況DI値は、前月対比+3.5改善し、-10.3ポイントであった。DI値内容は、資金繰りが+10.4の-3.4、設備操業度が+3.5の13.8、雇用人員が+3.4の10.3、在庫数量及び取引条件が+3.4の0ポイントと改善した。一方、売上高及び販売価格が-3.5の-6.9、収益状況が-3.4の-17.2ポイントと悪化した。県内製造業のDI値は3月から徐々に上昇し続けており、改善基調にあると見られる。
- 非製造業の景況DI値は、前月比-3.5悪化し-6.9ポイントであった。「業界の景況」の回答数内訳が、好転は「2」で前月と変わらなかったが、悪化は「4(卸売・小売・商店街・運送業の業種)」と1業種増え景況DI値を下げた。DI値内容は、売上高が+17.2の3.4、資金繰りが+17.2の0、収益状況が+13.8の0、雇用人員が+13.8の-6.9ポイントと改善した。他のDI値4項目に変動はなかった。

非製造業

小売業

- 絶版車による駆け込み需要があったが、中古車価格上昇と在庫不足で売り上げ不振であり、全体的に売上が悪い。《自動車》

商店街

- 集客力の低下、客単価の低下はイオンだけの影響とは思えない。空き店舗が多く魅力のない商店街になっている為に土日の集客力が低下しているのではないかと。気温が高すぎるため、人が出て来ずアパレルは不振である。台風と残暑の影響が大きい。《商店街・岡山》
- 日曜日の午後、人通りが途絶える時間帯がある。日曜対策が必要か。《商店街・倉敷》

サービス業

- 各行政から組合への指名発注(大規模な物件)がほとんど無い状況である。一般競争での入札物件は多少あるが、価格競争が非常に厳しく、受注することが大変困難な状況となっている。《建築設計》
- 岡山県南では観光客が増加しているが、真庭市、湯原温泉は減少している。PR活動、二次交通対策をすることが必要である。《旅館・ホテル》
- 建設業組合員は、人手不足のため新規工事が受注できない状況が続いている。サービス業組合員の景況は上昇傾向であるが、人手不足であり、人材確保が非常に困難である。《IT産業》
- 鉄・非鉄では、国内スクラップ価格は当地区では前月比3,500円上昇した(1TON当たり)。原因は夏期減産期を経た電炉メーカーの生産増加によるものであり、3年ぶりの高値となった。しかし、海外での市況軟化の傾向も出てきており、今後の価格動向が注目される。古紙では、中国向けの古紙輸出が減少したことにより、新聞段ボール雑誌とも前月比約10%位値下がりした。今後、国内の古紙在庫の推移がどうなるかが注目される。《リサイクル》

建設業

- 単価が中堅以下ゼネコンは下降気味であり、大手は不変である。設計見積段階でいまだに物価本を利用し、低単価での見積が行われている。《左官》
- 一部の組合員は数多くの工事を受注しているが、全体的には低迷しているように思われる。《土木工事》

運輸業

- 募集ツアー全体の集客人員は前年比87%、客単価は115%で推移した。集客減はシルバーウィークの並びが良くなり、さらに台風18号の影響でキャンセル続出したのが要因である。一方、日帰りの特別企画商品や加賀の藩戸コース、行き先を公表しないバスのミステリーツアーなど企画物が好評であった。また、工場めぐりやビールサーバー付きツアーなどテーマを持ったプランも人気となった。《バス》
- 県南の倉庫事情の悪化に伴い、在庫残高は上昇している。近隣倉庫も空きスペースはなく、拡張性は乏しい。しかしながら、ハウスメーカーによる倉庫建設(パイパス沿い、流通センター内)は進んでおり、今後賃貸倉庫の影響は懸念される。倉庫不足の影響もあり、若干相場料金の上昇もみられるが、依然として人手不足は解消されておらず、組合企業も苦勞している。業界全体も荷動きは緩慢で、運送単価は上昇しつつも、トラック不足で対応できていない。《倉庫業》

その他

- 地域の中小零細事業者の業況に大きな変化は見られず、業況も堅調で安定している。製造業では慢性的な人手不足もあり、人員確保が課題。衆議院が解散され、選挙結果では株価等に大きな影響が出ることも予想され、状況を注視する必要がある。《信用組合》

就実大学
経営学部
課外講義

岡山地域の中小企業のブランド化のために

第12回

製品カテゴリーによる違い

ブランドという言葉のもつ魅力

ブランドという言葉は、とても強い響きをもった言葉であるように思う。マーケティングにおいて、ブランドとは単に優れた品質や機能をもつだけでなく、消費者の頭の中にイメージを形成し、その心を捉えて離さないようなものとされる。「このブランドであれば安心だ。」「似たような製品ならとりあえずこのブランドを買う。たとえ多少値段が高くとも。」まさにブランド価値である。こうしたブランドという概念は大変魅力的で、実際そうしたブランドを作り出せるなら自社の売上と利益を向上させる大きな力となるだろう。だが、あまりにも魅力的な概念であるため、とすれば売り手の心までがこの言葉に拘束されることもあるのかもしれない。

消費者はどれほどブランドにこだわるか

図を見てほしい。これは世界29カ国、

製品による基本戦略の違い

消費者がブランドを重視する製品分野

71,000人の消費者を対象に行われた調査からのデータであり、品切れの際の消費者の反応を製品カテゴリーごとに見たものである。これによると、確かにブランドは製品選択に大きな影響力をもつが、その効力は製品カテゴリーによってかなり異なることがわかる。一方の極には、消費者が店や日を変えてでも同じ製品を求めるものがある。それらの製品は個人の好みや事情を強く反映し、そのあるなしで生活上の快・不快が大きく変わるようなものである。他方の極には、そこまで切実な事情がなく、ブランドへのこだわりも弱い製品分野がある。あらゆる製品は消費者のニーズを満たすためのものだが、そのニーズ自体の生活における重要度によってブランドの効力も変わるのだ。

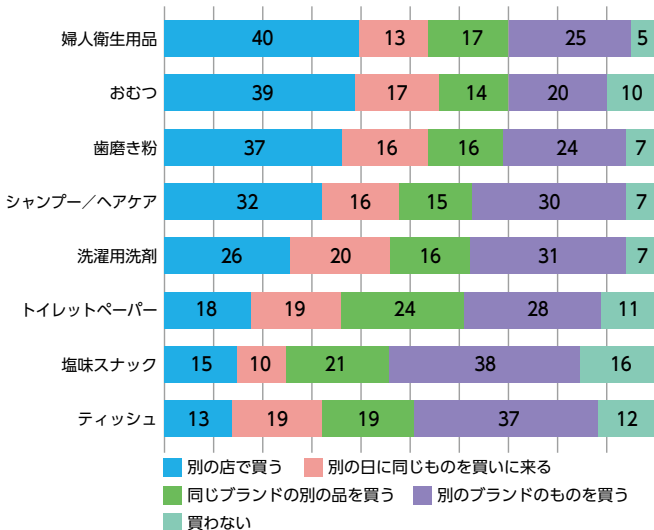
では、品質や機能、その消費者認知への働きかけを重視すべきことは言うまでもない。反面、そうした分野では広範囲の小売りにおける品揃え充実のような問題は相対的に重要でないともいえる。顧客はそれが売っている場所に自ら足を運んでくれるからだ。逆に、ブランドが重視されにくい製品分野では、ある程度の品質で安価なものも供給することが重要になる。この場合、メーカーが考えるべき問題は効率的な生産と流通手段の確保である。限られた経営資源の中で何を優先すべきかを考えなければならない。あまりにもブランドという言葉が普及したため、商品を世に送り出す際には、何かとブランド作りの問題



就実大学経営学部専任講師
大倉 健氏

【プロフィール】

一橋大学商学部、同商学研究科博士課程、富士大学経営学部専任講師を経て現職。専門は経営戦略論。大学では経営史、経済史、統計学、生産システム論を教える。



Gruen 他 (2002) Retail Out-of-Stocks: A World Examination of Extent, Causes and Consumer Responses

に話が向きやすい。しかし、そもそも消費者はどこまでそれにこだわるのだろうか。自社の位置する業界にどのような特徴があるのかを考え、それに合った策を立てるのが戦略の基本である。

11月は「過重労働解消キャンペーン」期間です

平成26年11月に施行された「**過労死等防止対策推進法**」において、11月は「**過労死等防止啓発月間**」とされています。このため、厚生労働省では、同月間において、過労死等の一つの要因である長時間労働の削減等、過重労働解消に向けた集中的な周知・啓発等の取り組みを行う「**過重労働解消キャンペーン**」を実施します。

労働時間を適正に把握し、下記の措置を講じましょう。

過重労働による健康障害を防止するために

●時間外・休日労働時間を削減しましょう

- 36協定で定める延長時間は、限度基準に適合したものとする必要があります。
- 特別条項付き協定により月45時間を超える時間外労働が可能な場合にも、実際の時間外労働は月45時間以下とするよう努めましょう。
- 休日労働についても削減に努めましょう。

●年次有給休暇の取得を促進しましょう

- 年次有給休暇を取得しやすい職場環境づくり、計画的付与制度の活用などにより、年次有給休暇の取得促進をはかりましょう。

●労働者の健康管理に係る措置を徹底しましょう

- 健康管理体制を整備するとともに、健康診断を実施しましょう。
- 長時間にわたる時間外・休日労働を行った労働者に対する面接指導を実施しましょう。

賃金不払残業を解消するために

- ①職場風土を改革しましょう。
- ②適正に労働時間の管理を行うためのシステムを整備しましょう。
- ③労働時間を適正に把握するための責任体制を明確化しチェック体制を整備しましょう。

キャンペーンに関するお問い合わせは、岡山労働局労働基準部監督課まで (☎: 086-225-2015)

「平成29年度 障害者採用準備セミナー」のご案内

国立吉備高原職業リハビリテーションセンターでは、障害者の採用をご検討されている企業や既に障害者を雇用されている企業のご採用担当者の皆様に、障害者の採用や雇用管理、職業訓練等についてご理解を深めていただくためのセミナーを開催します。この機会に是非、ご参加ください。

開催日

平成29年11月21日(火) 10:00～16:00

開催場

国立吉備高原職業リハビリテーションセンター(岡山県加賀郡吉備中央町吉川7520)

プログラム

(各プログラムごとの参加も可能です)

【講習】

☆障害者雇用の基礎や職場定着に向けた支援について、当センター職員がお話しします。

【体験発表】

- ☆当センターの訓練生3名による体験発表
- ☆当センター訓練生の雇い入れ企業からの体験発表

【分科会】

☆「障害者雇用を進めるためには」をテーマに、グループに分かれ各社の状況や取り組み等について意見交換を行っていただきます。

【その他】

☆希望者は、当センターの見学も可能です。

※詳細は、当センターHP (<http://kibireha.jeed.or.jp/>) をご覧ください。(参加申込書ダウンロード可能)

※お問い合わせ先: 国立吉備高原職業リハビリテーションセンター 職業指導課 (☎0866-56-9002)

掲示板

■岡山県中小企業団体親睦ゴルフコンペ

日時 平成29年11月9日(木) 7時30分～
場所 倉敷カントリー倶楽部

■もぐへぐ補助金成果事例発表会

日時 平成29年11月17日(金) 14時～18時
場所 ANAクラウンプラザホテル岡山

■岡山県中央会第2回役員会

日時 平成29年11月20日(月) 14時30分～
場所 ヒュアリティまぎび

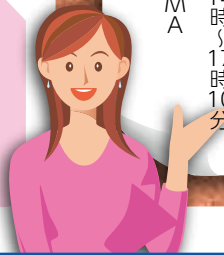
■健康経営セミナー

日時 平成29年11月28日(火) 14時～17時10分
場所 サンビーチOKAYAMA

共済業務委託制度活用のおすすめ

組合員自己財源確保のため

当会が実施している「共済制度」の普及・促進等のご協力をいただける組合様を募集しています。又、業務委託契約を結び、組合・組合員の役員の方のご成約いただければ紹介料をお支払いします。当会HPをご覧ください。問い合わせは総務企画課まで。



企業の人事担当者の皆様へ 当センターでは

人材の確保・従業員の再就職を支援しています。

お気軽にご相談ください

ご利用時間／9:00～17:00
(土・日・祝日は休業)



公益財団法人 産業雇用安定センター 岡山事務所

〒700-0826 岡山市北区磨屋町10-20(磨屋町ビル4階)
Tel.086-233-3081 Fax.086-233-1227
E-mail okayama-j2@sangyokoyo.or.jp URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

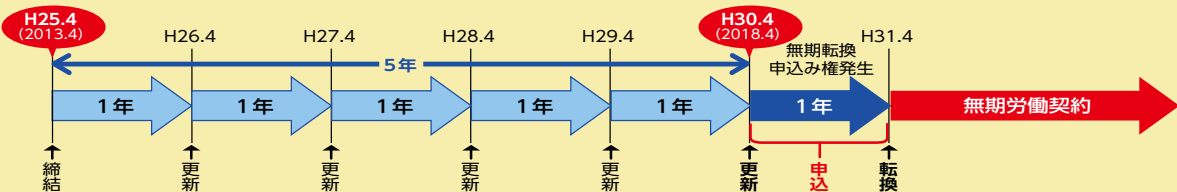
産業雇用

はじまります「無期転換ルール」 ～平成30年4月から無期労働契約への転換申込みが本格化！～

無期転換ルールは？

同一の使用者(企業)との間で、有期労働契約が更新されて通算5年を超えたときは、労働者の申込みにより、期間の定めのない労働契約(無期労働契約)に転換できるルールです。
通算5年のカウントは平成25年4月1日以降に開始した有期労働契約が対象です。(労働契約法第18条:平成25年4月1日施行)

【例:平成25年4月から、1年間の有期労働契約を更新し続けている場合】



※無期労働契約の労働条件(職務、勤務地、賃金、労働時間など)は、別段の定め(労働協約、就業規則、個々の労働契約)がない限り、直前の有期労働契約と同一となります。

労働条件を変える場合は、別途、就業規則の改定などが必要です。


※無期転換ルールの適用を避けることを目的として、無期転換申込み権が発生する前に雇止めをすることは、労働契約法の趣旨に照らして望ましいものではありません。

また、有期労働契約の満了前に使用者が更新年限や更新回数の上限などを一方的に設けたとしても、雇止めをすることは許されない場合もありますので、慎重な対応が必要です。

くわしくは無期転換ポータルサイトへアクセス！

無期転換ルールの概要や厚生労働省で行っている支援策、先進的な取組を行っている企業事例のほか、無期転換後の受け皿の1つとなる「多様な正社員」の導入の際に参考となるモデル就業規則などを掲載しています。 <http://muki.mhlw.go.jp/>

無期転換

 厚生労働省 岡山労働局 (雇用環境・均等室 Tel 086-224-7639)

その募集・採用 年齢にこだわって いませんか？ — 年齢にかわりなく、均等な機会を —

労働者の募集・採用に当たって、年齢制限を設けることはできません。

● 求人票は年齢不問としながらも、年齢を理由に応募を断ったり、書類選考や面接で年齢を理由に採否を決定する行為は法の規定に反するものです。

● 形式的に求人票を年齢不問とすれば良いということではなく、応募者を年齢で判断しないことが必要です。

年齢にとらわれない、人物本位、能力本位の募集・採用をお願いいたします。

例外として年齢制限が認められる場合があります。例えば、「年齢にかかわらず求める人材を募集するにあたり、求人広告をどのように書けば良いのですか？」など、労働者の募集・採用における年齢制限禁止についてご不明な点がございましたら、最寄りのハローワークへお問い合わせください。また、厚生労働省ホームページでは、よくある質問を掲載しています。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/topics/tp070831-1.html

中国学園大学 現代生活学部 人間栄養学科 講師 古川愛子の「健康と若さを保つ食生活を目指そう!」

あんこinスイーツポテト

甘さを控えたさつまいも生地をあんこではさみました。好きな形に絞ってこんがり焼いてください。寒い季節にぴったりのスイーツです!



● レシピ (7個分) ●

<材料>
さつまいも 1本(約200g) 卵黄 14g
砂糖 20g 黒豆あん(W焙煎はじけ黒) 200g
バター 15g 卵黄(つやだし用) 適量
牛乳 35cc

<作り方>
① さつまいもの皮をむき小さく切り、やわらかくなるまでレンジで加熱する。
② ①をつぶし、砂糖・バター・牛乳・卵黄を加えてよく混ぜる。
③ ②を絞り袋に入れアルミカップに絞り、その上にあんこを重ね、さらに②を絞る。
④ つやだし用の卵黄をぬり、トースターで焼き色がつくまで焼けば完成!

提供商品



黒豆あん (W焙煎はじけ黒)
(倉敷 天領大黒(東万織工株))

すっきり滑らかなこしあんに香ばしい天領大黒の黒豆が練りこまれた、今までにないあんこです。あんこの甘さに黒豆の香ばしさと深いコクが合わさって、とても濃厚ですが甘すぎずあっさりとお食べやすく仕上げました。

私たちが考えました!



人間栄養学科3年生
写真左より
吉田菜由、松岡杏奈、丸尾彩香、足立鈴佳

当コーナーは、岡山県中央会が支援させていただいている食品関連事業者様の製品を、中国学園大学のアイデア協力によりレシピを作成しています。

編集後記

この度の取材では、地元の活性化を事業の根幹とする株式会社ビザビにお話を伺いました。生まれが小豆島である私は、自己紹介の時等に多少話のネタがあつて得をしている気がしますが、地元愛というものについては欠落している感が否めません。かれこれ岡山に住み始めてから6年目となりましたが、居心地が大変よく、少なくとも今は岡山に骨を埋める気です。

U-Jターン対策だけでなく、私のように外から岡山に来た人がそのまま住みたいと思えるような環境づくりもとても大切なのかなと思います。小豆島も子どもが少なく、若い力が不足している気がしますが、そこは地元愛に溢れる地元の友人たちに任せようと思います…。(長木)

ボクはしんぢん士 たいまうし平



三井生命保険株式会社

生命保険団体扱オーナーズプランのご案内

BESTパートナー
三井生命



「経営者のリスクマネジメント」を目的に
組合員がご契約者となる生命保険契約です。

Owner's Plan

岡山県中小企業団体中央会の会員組合の組合員
がご契約者の場合、団体扱*となり、一般扱(口座
振替扱月払等)よりも **割安な保険料** で
ご契約いただけます。

* 団体扱とは、岡山県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございます。
※ 詳しくは、「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」を必ずご覧ください。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

よりそう保険。



大樹

Taiju Select

セレクト

無配当保障セレクト保険

安心できる未来のために、
今日もあなたの想いによりそう。

あなたにぴったりの保障を自由にセレクト!

詳しくは、「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」を必ずご覧ください。

オーナーズプランは、上記以外の商品もお取り扱いしています。詳しくは下記までお問い合わせください。

三井生命保険株式会社 岡山支社

〒700-8521 岡山県岡山市北区幸町8-29 三井生命岡山ビル6F TEL:086-232-2011

<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

B-2017-1004 (2017.4)
使用期限 2018.3.31